

学習指導

教科名	指導計画の作成	指導の工夫	評価の改善・充実
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中学校9年間の単元の目標及び学習内容を重点化し、弾力的に指導することができるよう調和のとれた指導計画を作成する。 ○ 各領域において相互に密接な関連を図るとともに系統的、発展的に言語活動が行われるよう適正に指導計画を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「A話すこと・聞くこと」の領域では、話題を適切に取り上げ、指導の効果を高めるとともに意図的・目的的に表現するよう活動の場面を設定する。 ○ 「B書くこと」の領域では、相手や目的に応じて、文章を書く活動を意図的に設定する。 ○ 「C読むこと」の領域では、読書に親しみ、文章の内容を的確に読み取る指導過程を具体化する。 ○ 各領域の中に、現行の言語事項を適切に位置付け、意図的・継続的な指導に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個に応じて言語能力を高めることができるよう学習の成果と課題を振り返り、次時に生かすための位置付けをする。 ○ 評価と学習課題との整合性を図り多様な方法で児童生徒の言語能力の高まりをとらえて指導に生かす。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的な見方や考え方を養うために、作業的、体験的な学習や問題解決的な学習を指導計画に位置付ける。(小) ○ 社会的な見方や考え方を養うために、各分野において適切な課題を設けて行う学習を指導計画に位置付ける。(中) ○ 学校や地域の実態や児童生徒の発達段階を考慮し、系統的・発展的な指導が進められるよう指導内容を具体的に組織・配列する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な地域及び遺跡や文化財などの観察や調査を学習活動に取り入れる。また、図書館などを活用し資料の収集・活用・整理などを行う。(小) ○ 基本的な事項・事柄を厳選して指導内容を構成するとともに、資料を選択し活用する学習と作業的、体験的な学習の充実を図る。(中) ○ 小学校においては生活科との関連を図る。中学校においては小学校の学習との重複を考慮するとともに各分野の有機的な関連を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観察や調査・見学などの体験的な活動の様子や調べ考えたことについて評価する。(小) ○ 資料を選択し活用する学習や作業的、体験的な学習活動について評価する。(中) ○ 自己評価や相互評価を活用して、児童生徒のよい点や進歩の状況などを評価する。

教科名	指導計画の作成	指導の工夫	評価の改善・充実
生 活	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の特徴を踏まえ安全等に配慮しつつ、校外での活動を積極的に取り入れた指導計画に改善する。 ○ 児童の実態等を考慮し、合科的な指導を含め積極的に他教科等との関連を図った指導計画を作成する。 ○ 幼稚園や他学年との育ちや学びの連続性を踏まえた指導ができるよう、単元構成を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な人々や自然へのかかわりを重視し、気付きの質を高めることのできる多様な学習活動を工夫する。 ○ 伝え合う活動を行い、人とかかわることの楽しさを味わい、進んで交流することができるようにする。 ○ 継続的な飼育、栽培を行うことで、動物や植物へのかかわり方が深まるようにする。 ○ 試行錯誤や繰り返す活動を設定し、そのための学習環境を構成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験の広がりやその中での気付きなどを多面的、総合的に見取り、一人一人のよさや可能性を把握するとともに、自信や意欲につなげる評価を工夫する。 ○ 児童の認識、感覚、技能等の発達・成長について適切にとらえ、指導に生かす。
音 楽	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各活動を有機的かつ効果的に関連させることができるように、内容の構成や主題の設定及び適切な教材の選択と配列に配慮する。 ○ 表現と鑑賞の相互関連を図り、系統的、発展的に学習が展開できる指導計画を作成する。 ○ 〔共通事項〕について、表現及び鑑賞の各活動において十分な指導が行われるように配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽の豊かさや美しさを感じ取ったり、音楽の諸要素を聴き分けたりして、表現や鑑賞の活動に生かすことができる指導を工夫する。 ○ 我が国や諸外国の音楽文化に愛着をもち、尊重するとともに、多様な音楽の特徴を感じ取ることができる指導を工夫する。 ○ 指導のねらいに即して体を動かす活動を取り入れる。 (小) ○ 表現方法(中)や表現形態(小5, 6, 中)を選択できるようにするなど、効果的な指導ができるように配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的な評価項目及び方法を明確にして多面的、総合的に学習状況を把握する。 ○ 児童生徒の思いや意図、可能性を積極的に見だし、表現や鑑賞に生きる賞賛や助言を行う。

教科名	指導計画の作成	指導の工夫	評価の改善・充実
図画工作美術	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒の発達の特性や地域の実態などを踏まえると同時に、【共通事項】に配慮し、育てたい資質や能力を明確にして題材を構想し指導計画を作成する。 ○ 児童生徒一人一人のよさが発揮され、資質や能力が高められるように、学習活動や表現方法など、内容に幅のある題材を工夫し、指導計画に位置付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材を自分のものとして実感的に受け止め、表現への思いや願い（主題）をふくらませることができるように、魅力ある題材との出会いを工夫する。 ○ 表現と鑑賞の関連を図り、発想や構想の能力、創造的な技能など、題材で育てたい資質や能力に基づいて個に応じた柔軟な指導を行う。 ○ 児童生徒がもてる力を発揮し高まるように、表現内容や方法を自己選択・自己決定したり、試行錯誤しながら創意工夫したりする場面を意図的に位置付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共感的、具体的な言葉かけにより、児童生徒のよさを認め励ます支援に努める。 ○ 児童生徒が互いによさを確かめ合ったり認め合ったりすることができるような自己評価や相互評価を工夫する。
体育保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達の段階のまとまりを考慮し、小・中学校、高等学校を見通し、系統性を図った指導計画を作成する。 ○ 体育・健康に関する自校の課題解決へ向け「体力づくり推進計画」を作成・改善する。 ○ 食育や心身の健康の保持増進等の今日的課題の解決へ向け、各教科等との関連を図った指導計画を作成する。 	<p>【運動領域・体育分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「体づくり運動」の充実を図るとともに、他の領域においても体力が高まるよう指導の工夫・改善を図る。 ○ 体育と保健をより一層関連させ、具体的な活動を通して心の健康が運動と密接に関連していることを体得できるようにする。 <p>【保健領域・保健分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識を活用する学習を取り入れるなどの指導方法の工夫を行う。 ○ 身の回りの安全等を重視した指導を行い、安全な行動に結び付くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 評価規準を基に各観点別評価項目の評価結果を累積し、バランスのとれた評価を行う。 ○ 評価方法や評価場面を工夫した評価計画を作成し、指導の改善に生かす。

教科名	指導計画の作成	指導の工夫	評価の改善・充実
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の実態を的確にとらえ、育成する資質や能力を明らかにして、内容相互の関連を図った題材の構成を工夫する。 ○ 学年の発展性や系統性、季節、学校行事、地域等との関連を考慮し、2学年間を見通して段階的に題材を配列する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な生活の課題を見付け解決する過程を大切にした学習を展開するなど、実践的・体験的な活動や問題解決的な学習を工夫する。 ○ 児童一人一人の興味・関心や生活の実態に応じて、題材構成や使用する教材を工夫したり、課題を選択して追究したりするなど、弾力的な学習ができるようにする。 ○ 家庭との連携を図り、習得した知識や技能を実際の生活に活用し、継続的に実践することができるようにする。また、家庭での実践の成果を発表するなどして、家庭で実践する喜びや自信がもてるよう配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実践的な態度を育てるために、評価方法や場面を工夫し、毎時間の実現状況を継続的に把握しながら、指導に生かす。 ○ 2学年間の学習全体を貫く視点として「自分の成長」が設定されたことを踏まえ、学習の成果を振り返ることを通して、自分の成長への気付きが段階的に深まるようにする。
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○ 技術分野及び家庭分野については、3学年間を見通した全体的な指導計画に基づき、いずれかの分野に偏ることなく授業時数を配当する。 ○ 技術分野及び家庭分野のA～Dの各項目に配当する授業時数及び履修学年については、各学校において適切に定める。 ○ 各項目及び各項目に示す事項については、相互に密接な関連を図り、系統的及び総合的に展開されるよう適切な題材を設定して計画を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仕事の楽しさや完成の喜びを体得させるよう、実践的・体験的な学習活動を充実させる。 ○ 問題解決的な学習を充実するとともに、家庭や地域社会との連携を図る。 ○ 生徒の日常生活とのかかわりや社会とのつながりを重視した題材を選定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の過程を振り返らせ、工夫したことやできるようになったこと、生活に生かしたいことなどの観点から題材のまとめを行う。 ○ より意欲的に学習に取り組ませるために、生徒のよい点や進歩の状況を積極的にとらえて、次の指導に生かす。

教科名	指導計画の作成	指導の工夫	評価の改善・充実
外国語 （英語）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校における外国語活動の状況を積極的に把握し、円滑な接続が図れるように指導計画を作成する。 ○ 言語活動の充実を通して言語材料の定着を図るとともに、コミュニケーション能力の育成を目指した指導計画を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の4技能を総合的に育成するための活動を工夫する。 ○ コミュニケーション能力の育成の基礎となる文法指導を言語活動と一体的に行うように工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語材料の定着の度合いや言語活動への取組状況等を多面的に評価するとともに、それに基づく適切な支援を行う。 ○ 多様な評価を通して、身に付いた力を自覚させ、向上心を高める。

道 徳

1 重点目標を設定した全体計画と各教科等との関連を考慮した指導計画の改善

- 校長の方針の下に、児童生徒の道徳性の実態と課題、教職員・保護者の思いや願い、社会の要請等を把握し、全教師が協力して**道徳的価値の重点化を図った全体計画**を作成する。
- 全体計画との関連を図り、各教育活動において行われる道徳教育を全体にわたって調和的に**補充・深化・統合**する「道徳の時間」の指導計画を作成する。
- **各教科等や体験活動との関連的指導を工夫**した年間指導計画を作成する。

2 指導体制の確立と多様な展開を図るための指導方法の工夫

- 道徳教育の中核的な役割と性格をもつ ^{かなめ} **要** としての「道徳の時間」を**確実に実施**する。
- 校長や教頭の参加、他の教師との協力的な指導体制を工夫し、**道徳教育推進教師**を中心に、教師同士の情報交換や授業参観等を実施して学校全体の授業力を高めるようにする。
- 教師と児童生徒の**信頼関係**をはぐくむとともに、児童生徒相互の**人間関係**の充実を図ることによって、一人一人が自分の感じ方や考え方をのびのびと表現することができる雰囲気づくりに努める。
- 児童生徒が道徳的価値を追求し、**多様な感じ方や考え方**によって学び合うことができるよう発問や展開を構想する。
- **「道徳の時間」の授業の公開**を通して、家庭や地域社会との共通理解を深め、「道徳の時間」に保護者や地域の人々が参加・協力する体制づくりを工夫する。
- 各教科等や体験活動との関連を踏まえて、**児童生徒が道徳的価値に気付き、その大切さについての考えを深める指導**を工夫する。

3 よさを認め励ます評価

- 「道徳の時間」においては、児童生徒が気付いた道徳的価値について自己を振り返り、**自分のよさをさらに伸ばす評価**を行う。また、学習過程の中で児童生徒が互いのよさを見いだしたり、成長を実感したりできるように工夫する。
- 児童生徒の道徳性について常に実態を把握し、教育活動全体を通じて行われる道徳教育及び道徳の時間について、指導の前後における児童生徒の心の変容を様々な方法でとらえ、**長期的・多面的**に心の動きを見取り、**総合的**に評価を行う。

参考：「道徳の時間」をどう構想するか

* 「心に響き、共に未来を拓く道徳教育の展開」（文部科学省）

- ねらいを検討する。
- 指導の要点を明確にする。
- 資料を明確にする。
- 全体の展開を考える。
展開を考える手順の例
 - 中心となる発問を考える。
 - その発問を生かすための前後の発問を考える。
 - 自分自身を見つめる発問を考える。
 - 導入について考える。
 - 終末について考える。
- 一人一人を生かす方法を考える。
- 事前や事後の指導とのかかわりを押さえる。

外国語活動

1 学校や地域の実態に応じた指導計画の作成

- 各学年の指導のねらいと内容を適切に定め、**各教科等**の学習の成果を適切に生かした指導計画を作成する。
- 「言語や文化に関する事項」に関しては、児童の発達段階を踏まえ、**体験的に理解を図ることができる**ような指導計画を作成する。
- 音声や基本的な表現に慣れ親しむことができるように、単元及び一単位時間の学習過程を工夫する。

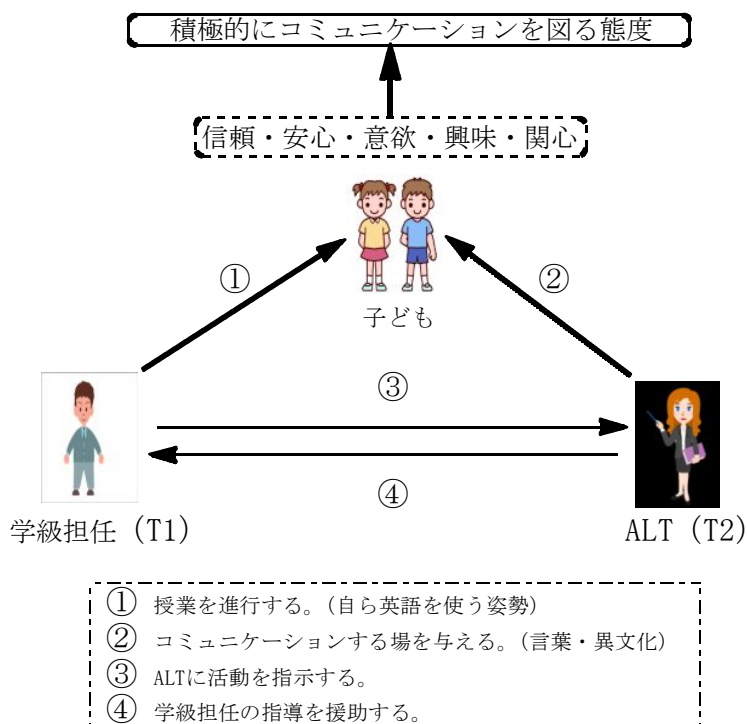
2 外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成

- 中学校、高等学校でのコミュニケーション能力の素地を養うために、基本的な英語でコミュニケーションを図る**楽しさ**を体験することを通して、**積極的な態度**を身に付けさせる。
- 児童の**興味・関心**に合った学習内容や活動を取扱い、**意欲的**に取り組むことができるようにする。
- 興味をもって外国語を聞き、相手の思いを理解しようとしたり、自分の思いを伝えることの難しさや大切さを実感したりしながら、積極的に**自分の思いを伝えようとする態度**を育てる。

3 学校や地域の実態に即した効果のある指導の工夫

- 体験を通して言葉のもつ面白さや豊かさに気付かせたり、異文化への興味・関心を高めたりするために、ネイティブ・スピーカーや、外国生活の経験者、海外事情に詳しい人々、外国語に堪能な人々の**協力を得ながら指導**できるように工夫する。
- 音声を取り扱う場合には、CD、DVDなどの**視聴覚教材**を積極的に活用する。

ALTを活用した効果的な授業のために



	学級担任 (T1)	ALT (T2)
よさ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもを理解している。 ○ 指導法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語を熟知している。 ○ 異文化を理解している。
役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業を進行する。 ○ 子どもの疑問や気付き等を把握して伝える。 ○ 英語を使うモデルとなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動をサポートする。 ○ 言語について指導する。 ○ 言葉に多く触れさせる機会を与える。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ ALTの説明を日本語に訳さない。 ○ 疑問点・重要点はALTに質問して子どもに気付かせる。 ○ 日本語が多くなり過ぎない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもが分かるように表現を工夫する。 ○ 学級担任に進行は任せる。(活動の初めと終わり等) ○ 日本語は話さない。

総合的な学習の時間

1 学校や地域の特色を生かした指導計画の改善

- 各学校で定めた目標に従い、**育てようとする資質や能力及び態度**を明確に示す。
- 児童生徒の**学習経験**及び季節や行事などを考慮し、**適切な活動時期**を踏まえた年間計画を作成する。
- **外部の教育資源の活用や異校種との交流**を意識した活動を計画的・組織的に推進する。
- 児童生徒の関心や疑問を生かした**単元計画**を作成する。

2 創意工夫を生かした学習活動の展開

- **体験的な学習**や教科等の枠を超えた**横断的・総合的な学習、探究的な活動**となるよう適切な指導を行う。
- 地域の教材や学習環境等の**教育資源を積極的に活用**するとともに、多様な学習形態や指導体制を工夫する。
- **各教科等で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け**、学習に生かすことができるよう指導する。
- **互いに教え合い学び合う活動**や地域の人との意見交換など、他者と**協同して課題を解決しようとする学習活動**を重視する。

3 主体的・創造的な態度を育成する評価の工夫

- 児童生徒のよい点、学習への意欲や態度、進歩の状況等を的確にとらえ、活動や学習の過程、報告書や作品、発表や討論などに見られる**学習の状況や成果**などを適切に評価する。
- **評価の観点や評価規準**を明確にし、様々な評価方法や異なる評価者による評価を適切に組み合わせる。

特別活動

1 自校の教育課題解決を目指した指導計画の改善

- 育成すべき**資質や能力**及び特別活動の**各内容のねらい**を明確にして、実態を考慮した弾力的な計画を作成する。また、作成にあたっては、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間などの指導との関連を図る。
- 家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを図り、体験的な活動を生かした**望ましい集団活動が展開できる場と時間を確保**する。

2 自主的、実践的な態度を育成するための指導の工夫

- 望ましい人間関係を形成するため、一人一人が自己の役割や責任を果たし、**集団の一員としての自覚**を深めるよう指導を充実する。
- 互いのよさや可能性を認め合える活動を通して、一人一人が**自己肯定感**をもてるよう**全教師の指導体制**を整える。

【学級活動】

- (1)においては、多様な**集団討議**によって**目標や内容を決定**するという体験を繰り返し、有用感や達成感を味わいながら、自発的、自治的な実践活動が展開できるよう工夫する。
- (2)においては、**集団思考**によって**自己目標を決定**する体験を繰り返し、日常生活と学習とを結び付けた指導を工夫する。
- 中学校の(3)においては、自己の生き方を考え主体的に進路の選択ができるよう、**ガイダンスの機能の充実**に努め、適切な指導・援助を行う。

【児童会・生徒会活動】

- 協力的な指導体制の充実を図り、**異年齢集団の特質**を生かし、自発的、自治的な活動を助長する指導・援助や**リーダーシップの育成**に努める。
- **学級活動との関連**を図り、児童生徒の自主性を尊重するとともに、集団による自治的活動の充実に努める。

【クラブ活動（小）】

- 児童の興味・関心を十分に踏まえ、学校、地域の実態を考慮しつつ、**自発的、自治的に企画、運営**できるよう適切な指導を行う。

【学校行事】

- 行事のねらいや特質に応じて精選化を図るとともに、**多様な人々との交流体験や文化的な体験（小）、職場体験（中）**等を重視し、自主的な活動が展開できるように工夫する。

3 特別活動の特質を踏まえた評価の工夫

- 活動の過程で一人一人を見取り、**よさや可能性**を援助する。
- 校内の協力体制の改善を図るとともに、評価方法の工夫や**記録の累積、活用**を図る。

生徒指導

1 自校における生徒指導上の課題の明確化と機能する指導体制の確立

- 児童生徒の実態から、自校の課題について全職員が共通認識に立ち、目指す児童生徒像や実践事項を明らかにするなど**課題解決のための具体的な指導計画**に改善する。
- 教職員の役割分担を明確にし、一貫した指導ができる指導体制を確立する。

2 積極的な生徒指導の推進

- **規範意識**を醸成し、人間的な触れ合いを基盤とした自己存在感のある**望ましい学級集団の形成**に努め、学校が「心の居場所」としての役割を果たすよう努める。
- 一人一人を大切にしたいきめ細やかな指導による「わかる授業」の展開を中心として、**生徒指導の機能を生かした授業**づくりに努め、子どものやる気を引き出す。
- **命の大切さや基本的な生活習慣等の指導**を徹底し、多様な体験活動やボランティア活動等を生かした**道徳教育の充実**を図る。
- 児童生徒との日常的な触れ合いを通して**信頼関係**を築き、児童生徒の悩みや不安などを早期に発見し、その解決のために**継続的な支援**に努める。
- 教育相談の知識や技能を高めるとともに、養護教諭やスクールカウンセラーと連携し、**教育相談の一層の充実**を図る。

3 不登校解消やいじめ根絶の推進、児童虐待への早期対応

- 児童生徒の実態を的確に把握し、不登校傾向、いじめ問題や児童虐待などの**早期発見、早期対応**に努め、**早期解決**を図る。
 - ※不登校への対応
 - ・資料「不登校対応資料」「不登校対策カレンダー」の活用
 - ※いじめや児童虐待への対応
 - ・早期発見 —— 「いじめ根絶チーム」の実効ある活動、日常の観察、チェックリストの活用、定期的な調査
 - ・早期対応 —— 事実の的確な把握、いじめを許さない毅然とした態度、傍観もいじめと同じという認識、児童虐待の通告、地域社会や関係機関との連携

4 非行等の問題行動の未然防止と解決への迅速な対応

- **家庭や地域、近隣校、関係機関との連携**を図り、地域ぐるみの補導活動や研修などを通して、問題行動の未然防止、早期解決に努める。
- 有害情報へのアクセスや掲示板等への書き込みによるトラブルや犯罪被害を防ぐため、発達の段階に応じた**情報モラルの指導**の充実を図る。
 - ※ **犯罪被害を防ぐため「見ない」「書き込まない」「絶対に会わない」指導**
- 問題行動発生時においては、**迅速に体制を機能**させ、的確に状況を把握し、解決のための**実効ある方策**を立て、**組織的に対応**する。

進路指導

1 キャリア教育との関連を踏まえた指導計画の改善

- 進路指導は**キャリア教育**の中核であることを踏まえるとともに、キャリア発達にかかわる4つの能力を育成する観点から、これまでの教育活動との関連を明らかにする。

* キャリア発達にかかわる4つの能力

・人間関係形成能力 ・情報活用能力 ・将来設計能力 ・意思決定能力

- 各教科等との**関連**を図り、教育目標を踏まえ、3年間を見通した**機能する全体計画**及び系統的な指導を行うための年間指導計画を作成する。

2 自己の生き方を考え、主体的に進路が選択できる指導体制の確立と指導の充実

- 自己実現を図る能力や態度を育成するため、**ガイダンスの機能を充実**させる。
- **組織的、継続的な進路指導**を行うための指導体制を整え、保護者とともに進める進路指導の充実を図る。
- 職場体験等の**啓発的な体験活動の充実**に努めることにより、望ましい勤労観、職業観を育成するとともに、**現在及び将来の生き方**を考えた進路選択ができるようにする。
- 小学校においても、勤労観や職業観を育成する指導に配慮し、**現在及び将来の生き方**を考える機会を設ける。

3 家庭や地域社会、関係機関等との連携

- 家庭や地域社会、**小学校、中学校、高等学校、職業指導関係機関等**との情報交換を密にし連携を一層強化する。

へき地・小規模学校教育

1 地域や学校の特徴を生かした指導計画の改善

- 児童生徒や学校、地域の実態を踏まえ、**社会性の伸長、表現力の育成に配慮した指導計画**を作成する。
- 豊かな自然や伝統的な文化を生かすなど、特色ある教育活動が展開できるような指導計画を作成する。

2 少人数の学級の実態に応じた授業の充実

- 思考力・判断力・表現力等を育成するために、体験や気づきを生かした**話し合い活動、発表等を積極的に取り入れた授業**を展開する。
- 複式の学習指導においては、児童生徒の主体的に問題を解決していく力を育てるために、**一人学習や協同学習などの学習の仕方**を段階的に指導する。

3 一人一人のよさをとらえ自己実現を図る評価の工夫

- 一人一人の学習の実現状況を適切な評価に基づいて的確に把握することにより、**きめ細やかな指導**に生かす。
- 様々な教育活動場面での**記録を累積**し、児童生徒一人一人が自分の**よさを発揮**できるように活用する。

情報教育

1 情報化に対応できる資質や能力を育成する情報教育の体系的な推進

- 学校教育全体の情報教育を推進するために、**校内の組織や研修計画など指導体制を充実**する。
- 情報活用能力を身に付けさせるために、各教科等との関連を図りながら、**発達の段階に応じた指導内容や方法**を明らかにするとともに、次の3観点に従ってバランスよく育成する。

* 情報活用能力を身に付けさせるための3観点

… 情報活用の実践力 … 情報の科学的な理解 … 情報社会に参画する態度 …

参照：「教育の情報化に関する手引き」（平成12.3 文部科学省）

2 情報活用能力を高める指導の工夫

- 必要な情報を主体的に選択・活用する能力を育成するために、各教科等の学習において、コンピュータ等の**情報手段を効果的に活用**する。

3 情報モラルの育成

- **情報モラル**の育成のために、「**法令遵守**」と「**マナー・道徳性**」の2つの側面に配慮し、プライバシーや著作権の保護等について理解できるようにするとともに、情報の送受信に関する基本的なルール等を身に付けさせる。
 - ・ 「**法令遵守**」の内容例 … 「個人情報の保護」「著作権の遵守」「出会い系サイト等での不正誘引の禁止」「不正アクセスの禁止」その他の犯罪行為等
 - ・ 「**マナー・道徳性**」の内容例 … 「相手がいやがるようなことを書き込まない」「危険と思われる情報には近づかない」など、ネットワークを安全に気持ちよく利用する態度等
- 参照：校内研修資料「情報モラルの理解と指導『情報モラルの指導内容』」（福島県教育センターHP）
- 「**情報安全教育**」を充実させ、児童生徒が情報社会特有の被害やトラブルから自分の身を守り、被害者にも加害者にもならないようにする。また、「**危険回避**」についても具体的に指導する。

環境教育

1 環境を課題とした学習が一層充実する全体計画の改善

- 環境教育の重要性を踏まえ、自然環境の学習や地球温暖化防止の取組など、**環境の保全に配慮した望ましい働きかけ**ができるよう、環境を課題とした学習が一層充実する全体計画に改善する。
- 環境に対する実践的態度を育成するために、学校や地域の実態、児童生徒の発達の段階に応じて、身に付けさせたい力を明確にして内容や方法を工夫するとともに、各教科等との**相互の関連を図った指導計画**を作成する。

2 豊かな感受性や実践的態度を育成する指導の工夫

- 様々な体験活動を通して、環境に関する事象に興味や関心をもたせ、**環境に対する豊かな感受性**を育成する。
- 自分たちの生活や地域から環境にかかわる問題を取り上げ、解決の方策を考えるなど、地域の実態を踏まえ、**よりよい環境をつくろうとする実践的態度**を育てる。
- 保護者や地域社会との連携を図り、学校で身に付けたことを**家庭や地域社会での生活**に生かす指導を工夫する。

図書館教育

1 学校図書館の活用を図った指導計画の改善

- 各教科等やその他の教育活動と学校図書館との関連を密にし、**教育活動の効果を高める指導計画**を改善する。
- 児童生徒及び教員が学校図書館を**年間を通して活用**できるように、教育課程に柔軟に位置付け、主体的、意欲的な学習活動や読書活動が展開できるようにする。

2 学校図書館の機能や役割を生かす整備充実

- **司書教諭**を中心に、校内で**協力体制**をとりながら、魅力ある環境をつくり、**学習・情報センター、読書センター**としての機能の活用を図る。
- 児童生徒が学校図書館を活用し、学習することを通して、学び方や考え方を身に付けるとともに**新たなことを発見し、解決していく場**を設定する。
- 児童生徒の学習活動、読書活動が推進されるよう、**図書等の情報提供や適切な廃棄**を進める。

国際理解教育

1 学校や地域の実態等に応じた指導計画の改善

- 学校や地域の実態等に応じて、国際理解に関する指導のねらいと内容を明確にし、**各教科、外国語活動、総合的な学習の時間などとの関連**を図った全体計画、年間指導計画を作成する。
- 国際理解教育を総合的な学習の時間で行う場合には、**国際理解教育と総合的な学習の時間の趣旨**を踏まえ、適切な指導計画を作成し実施する。

2 我が国の伝統と文化を踏まえ、異なる文化や価値観を理解し、尊重する態度の育成

- 我が国の伝統と文化の理解に立ち、我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、各教科等の学習を通して、**異なる文化や価値観の相違を理解し、人権を尊重する態度の育成**に努める。
- 帰国児童生徒や外国人児童生徒の**外国や日本における生活体験**などを、教科等の指導に積極的に生かす。
- 様々な外国語に触れたり、外国の生活や文化に慣れ親しんだりするような**体験的な学習**を行う。

3 交流の場や機会の拡充による相互理解の深化

- 外国語指導助手や地域に在住する諸外国の人々と直接触れ合う**多様な交流活動**を推進し、自分の考えを明確にしながらか情報を得たり、発信したりして、**相互理解を深めようとする意欲と態度**を育てる。

人権教育

1 人権尊重の意識を高める教育の推進

- 各学校の教育活動全体構想の中に人権教育にかかわる内容を位置付けるとともにそれぞれの**教育活動の特質を生かした指導方法や内容を工夫**する。
- 教職員が人権尊重の理念を理解・体得できるような**研修を充実**する。
- **男女共同参画社会**を具体化する視点から、自校の教育課程、教育活動を見直し改善を図る。

2 人権尊重の感覚を育成する教育活動の展開

- 自分や他の人のことを大切なものと感じ取るだけではなく、ものの見方や考え方などの**違いを認め合ったり、互いに励まし合ったりする場**を日常の教育活動の中に意図的に設け、それぞれの個性や立場を尊重する態度の育成に努める。
- 他の人と共によりよく生きようとする態度や集団生活における規範等を尊重し義務や責任を果たす態度を育成し、人権について考え、それを大切にしようとする**集団づくり**に努める。
- いじめやネット上での誹謗中傷は**人権にかかわる重大な問題**であり、人間として絶対に許されないという自覚を促す指導を具体的に設ける。

3 指導の効果を高める評価の工夫

- 教育活動を展開する中に、**人権尊重の視点から評価する機会**を設け、指導に生かすようにする。

健康教育

1 自校の健康・安全に関する課題解決の推進を図る指導計画の改善

- 児童生徒の健康・安全に関する課題を的確に把握し、学校保健安全法、学校給食法に基づき、実効性のある「**学校保健計画**」「**学校安全計画**」「**食育全体計画**」等を作成する。
- 健康・安全に関する課題の解決を目指して、学校教育全体で推進できるよう**各教科等との関連**を十分に図りながら年間指導計画を作成する。

2 健康・安全に関する実践力の育成

【食育の充実】

- **食育推進コーディネーター**を核として、学校給食を効果的に活用しながら、教育活動全体をとおり**組織的に「食育」を推進**する。
- **栄養教諭・学校栄養職員等の専門性**を生かしたT・Tによる授業等を積極的に取り入れ、食に関する指導の充実を図る。また、食にかかわる体験活動やPTA事業（給食試食会）等を行い、**家庭や地域、関係機関との連携**に努める。
- **食中毒の防止**や給食への**異物混入の防止**のため、「**学校給食の手引**」を活用するとともに「**学校給食衛生管理基準**」に照らした衛生管理を徹底する。

【安全教育の充実】

- 具体的な非常事態を想定した**防犯教室や防災訓練**を実施し、**緊急時対応マニュアル及び災害対応マニュアルの不断の見直し**を図るとともに、施設・設備、用具の点検、操作等の熟知を図る。
- 家庭や地域、関係機関との連携を図り、**地域ぐるみの学校安全体制**を整備する。

【心身の正しい発達についての理解】

- 「**性に関する教育**」の手引の活用を図り、正しい知識を身に付け、適切な行動選択ができるよう**発達の段階に応じて適切な内容を指導**する。

3 学校保健委員会の充実

- 児童生徒の生活全般にわたる健康課題の解決のために、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、家庭や地域社会、関係機関とのより一層の**連携を図った運営**に努める。
- 学校保健委員会活動の成果や課題を適切に評価し、課題解決へ向け全教職員の協力のもと**具体的な実践**に生かす。

特別支援教育

1 全教職員の連携協力による校内支援体制の整備

- 児童生徒の実態と指導上の課題を学校全体のものとしてとらえ、**全教職員の共通理解**のもとに課題解決を図る。また、**校内委員会**を中心に、専門的な研修や、事例検討会を積極的に行う。
- 校内委員会では、**特別支援教育コーディネーター**が中心となり、校内の支援体制を整え、**支援内容を明らかにするとともに、関係機関との連携協力**を図る。

2 障がいの特性を踏まえた適切な指導

- 「よいところ、できるところ」を見い出して、「**個別の指導計画**」を作成し、自己肯定感や成就感及び自信をもたせる指導を行う。
- 落ち着いた環境の中で、学習目標や学習課題の設定、発問や板書の工夫など、**児童生徒の障がいの特性に応じた学習支援**を行う。

3 集団とのかかわりを重視したよりよい友達関係の構築

- 日常的な触れ合いの中で、**互いに認め合い、思いやりのある温かな学級づくり**に努める。
- 集団活動への参加やよりよい人間関係がつけられるよう、適切な支援を行うとともに、**基本的な社会的スキルの習得に向けた学習**を工夫する。
- 様々な人々との活動を通して経験を広め、**社会性や豊かな人間性を育てるために交流及び共同学習**を組織的、計画的、継続的に行い、相互理解を図る。

4 家庭、地域及び関係機関との連携

- **家庭との信頼関係**を大切にし、学習や生活の課題について、共通理解を図り、**一貫性のある支援**を行う。
- **特別支援学校等の助言または援助**を活用したり、**医療、福祉等関係機関と連携**を図ったりして、支援に生かすとともに、「**個別の教育支援計画**」の作成に努める。
- 障がいのある児童生徒の理解について、学校だよりや保護者会等を通して、**家庭や地域への継続的な啓発**に努める。

幼稚園教育



1 幼児の生活の連続性及び発達や学びの連続性を踏まえた指導計画の改善

- 一人一人の発達の实情をとらえ、幼稚園及び地域の実態に即した**教育課程**を編成する。
- **家庭、地域社会、小学校、保育所と互いに連携、協力**し合いながら保育できるよう、生活の連続性を踏まえた指導計画を作成する。
- 幼児の興味や関心、発達の实情などに応じた具体的な「ねらい」と「内容」を設定する。

2 一人一人の発達の特性に応じ、主体的な活動が確保できる保育の展開

- 体を動かす気持ちよさを体験させ、自ら体を動かそうとする意欲を育てる。
- 協同して遊ぶなど幼児が互いにかかわり合いを深めていく中で、**物事をやり遂げようとする気持ちや共通の目的を実現する喜び**を育てる。
- 「遊びを中心とした総合的な指導」を充実させ、幼児の知的好奇心、興味や関心(遊びを通した)を喚起し、「もの」「人」「状況」のかかわりが豊かになるように**環境の構成**を工夫する。
- 「したり」「見たり」「聞いたり」「感じたり」「考えたり」したことを自分なりの言葉で表現したり、それを聞いたりする意欲と態度を育てる。
- 教師や他の幼児と食べる喜びや楽しさを味わったり、様々な食べ物への興味や関心をもったりするなどし、進んで食べようとする気持ちを育てる。
- **障がいのある幼児**の指導にあたっては、関係機関と連携しながら幼児の実態に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的、計画的に行う。

3 幼児の発達する姿を踏まえ、よさに目を向けた評価の工夫

- 一人一人の**発達の課題**に即した**行動の理解と予想**に基づき、環境の再構成や次の援助に生かす。
- **保育カンファレンス**などを基に指導を振り返り、一人一人のよさや発達の姿を確かに見取り、次の保育に生かす。